



経営リスクへ **早期警戒** のススメ

データを活用してリスクや不正を未然に防ぐ

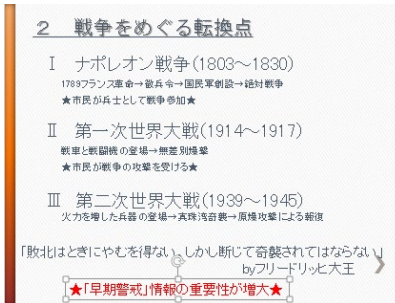
セミナーレポート 2019年3月13日 (水) @AP東京丸の内

株式会社アグリーメント セミナー事務局でございます。

2019年3月13日 (水) に開催された「経営リスクへ早期警戒のススメ」セミナーについて、レポートします。

最高気温18度で、穏やかな日差しが皇居のお堀に反射して春を感じさせる中、早期警戒という何やら不穏なタイトルのセミナーが始まりましたが、熱気にもあふれ、セミナーの内容を早速、実践してみたいというお客様もおられました。

昨年9月末に刊行された「会計の世界史」の売れ行きが絶好調で、更に、ビジネスフレームワークとして注目を浴びている「OODA型経営」を2014年から提唱され、ご自身も「米軍式人を動かすマネジメント」でOODA型経営の本を執筆された田中靖浩氏が、【情報】の持つ意味や位置づけの時代における変遷について、大所高所からご講演頂きました。



情報という言葉は、元々、戦争において敵を知るといふ軍事用語からきていたという事実になぞらえて、今日、ITやネットワークの発達、グローバル化の中で、企業は敵の見える戦いを強いられるので、Information → Intelligenceを活用して、早期警戒を怠らないことが、現代企業にとって最も重要だと力説されました。

勝つことよりも「負けない戦い」が大事だというフレーズに共感した参加者の方も多かったようです。

引き続き、プロティビティLLCの石川雅信マネージングディレクタより、「データを利活用したリスクアプローチでグループの不正兆候をとらえる」をテーマに、企業や組織レベルでおかしいことをやっている、会計情報に現れやすいということで、比較的簡単に不正を見抜く方法と、精査しながら見ていく方法をわかり易く解説頂きました。

やはり、そのような不正を見抜くにはデータが必要であり、データをいかに迅速に集約していけるか、リスクシナリオをどれほど組み立てられるかが大切であると説明されました。

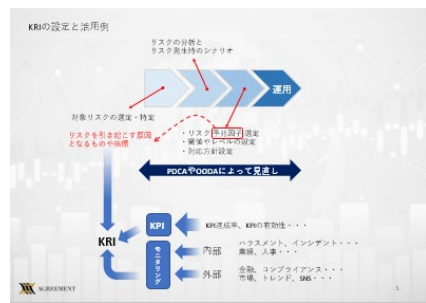
また、同時にこのような仕組みを作っていくことは、企業やグループ内の牽制にもなり、そもそも不正を起しにくい企業風土を作る第一歩になるとまとめました。



本日のピックアップ



1. グローバルリスクサーベイ結果について
2. 不正事例の研究
3. 不正事例からの教訓
4. 不正を予兆段階で把握するには



本セミナーのまとめとして、弊社代表豊倉光伺より、「全社横断データからKRI（重要リスク指標）を用いて経営予測を行う」をテーマに、「KPIとKRI」、「KRIの活用」、「データの重要性とデータが活用されない問題点」「AIの活用」という切り口で講演させて頂きました。これらのテーマは一見それぞれ別なように見えますが、全てデータを活用するという意味でつながっていて、巨大化、複雑化した組織ほど、データを一元化できる情報活用基盤が必要であるとお話しさせて頂きました。また、弊社でも現在引合いの多い経営とAIについては、リスクアプローチでデータをAIに投入する前にシナリオや因果関係を吟味して、相関関係をベースとしたAI活用が必要であり、導入企業において高い精度を出している事実を説明し、リスクマネジメントもAIも温故知新の学問で、似た側面があると解説いたしました。

セミナーアンケートから（一部抜粋）

田中靖浩氏講演

- ・戦争と情報について別の理解が出来た。
- ・監査に携わる者として、改めて早期警戒の重要性を認識した。
- ・敵情の報知、負けない戦いが参考になりました。
- ・新しいビジネスを立ち上げている最中で、単なるリスクヘッジではない、早期警戒の重要性が参考になりました。

石川雅信氏講演

- ・財務データからリスク分析する手法が具体的にイメージがわかりました。
- ・実例となった企業の解説が大変わかり易く、参考になりました。
- ・リスクシナリオの作成のどこにポイントを置くかに苦心しています。
- ・発生事例から教訓とするパートは改めて実行しようと思いました。分析の切り口も参考になったので、適正を見て検討してみます。

豊倉光伺講演

- ・データの重要性と活用が大事。また、集めたデータをどう使うかが大事、継続的なモニタリングの重要性を再理解しました。
- ・モニタリング活動のレベルアップに取り組んでいる中で、AIの活用も含めて参考になりました。
- ・データが見たい軸で取得、分析が難しいことが自社のみではないこと、経営にとって重要であることが理解できた。
- ・異なるベンダーのシステムを多く使用している当社にとって、見たい軸でデータ分析が出来ない事実は参考になりました。AIも積極的に利用していかなければと実感しました。

